



三トヨで、  
やって三ヨ。



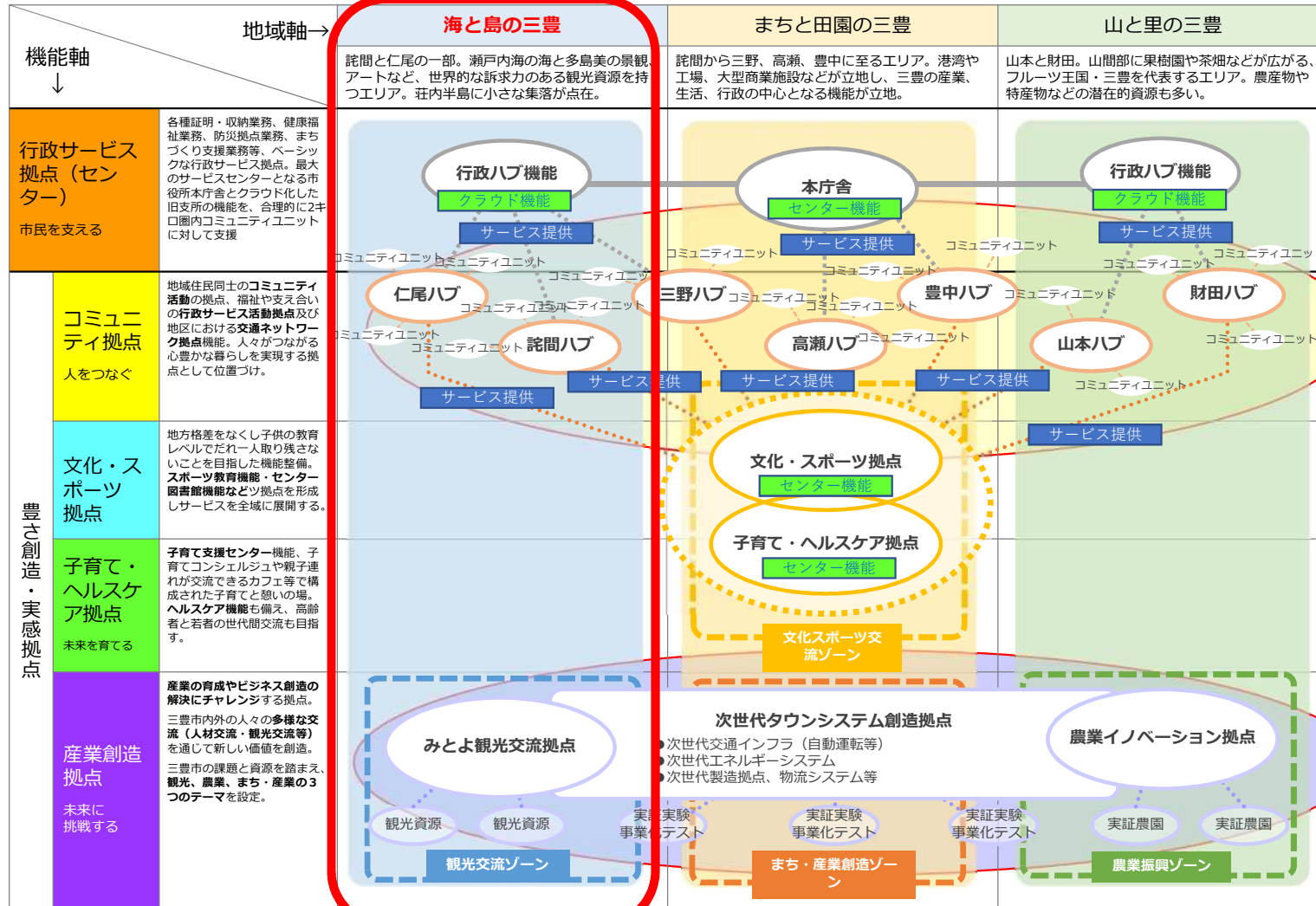
せとうちスマートアイランド構想～  
多極分散ネットワーク型における「海と島のみとよ」ゾーン観光活性化策

香川県三豊市



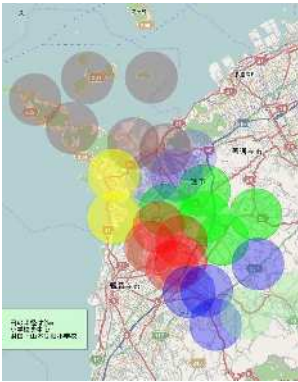
これからの三豊市には①行政サービス拠点、②コミュニティ拠点③文化・スポーツ拠点④子育て・ヘルスケア拠点⑤産業創造拠点を設定。この中で「海と島の三豊」エリアにモデル事業を展開する。

多極分散ネットワーク型まちづくりの基本フレーム～ゾーニングと拠点配置の考え方全体像



多極分散型  
コミュニティゾーン

ビジネス産業創造ゾーン





# 多極分散ネットワーク型の中のエリアの役割

## 市内全域に20数か所の2km圏コミュニティゾーン（計画）

= 「小さな拠点」配置構造

市内各地域の資源（自然、産業、生活文化、人等）と連携しながら、未来に向けたチャレンジを創出していく観点からのゾーニング

- 旧7町をベースとしたまちの捉え方
- 各地域を均等・平等に捉えた施策や投資

からの脱却！

海と島の三豊

荘内半島

まちと田園の三豊

県道21号～国道11号沿い

山と里の三豊

東南部

人のつながりを基準とした大きさの地域コミュニティ

本来あった地域活動やコミュニティ（地域自治活動）のつながりを大切にしながらも、高齢者・若者・子育て世代・子供たちが広く交流し、町のサードプレイスとして、憩う・くつろぐ・遊ぶ・学ぶ・用事をする・情報を入手するといった多機能なサービスステーション。行政機能拠点の再編成をすることで多極分散ネットワーク型の住みやすいまちづくりを推進する。

### ★2km圏コミュニティゾーンとは

=行政ハブ+コミュニティユニット（人々の集う場）  
そこにいけば・・・

緻密で高精度な情報・行政サービス・防災拠点

=ローカルせとうちスマートステーション（策定中）



## 海と島の三豊 = 産業創造拠点

< 産業と観光のエリア >

### ● 詫間地区

= 旧造船所跡地 & 工業団地

### ● 栗島・荘内半島・ 父母ヶ浜

= 観光地区・名所



### ★生活拠点の2km圏コミュニティゾーン

とエリア開発をうまく組み合わせて、  
観光・産業交通と生活交通の両立を図る。



せとうちスマートアイランド構想～多極分散ネットワーク型における「海と島のみとよ」ゾーン観光活性化策

粟島と荘内半島の魅力 = 海と島のみとよ

(あわしま) (しょうないはんとう)

海と島の三豊エリアとして魅力化を図りながら、観光・アートによる産業活性化と生活の充実をめざし、持続可能な、いわゆる日本の理想的な田舎暮らしのまちを実現していく。

SETOUCHI  
TRIENNALE  
2019



★瀬戸内国際芸術祭2019 in 粟島  
2019年9月28日～11月4日 秋季大会  
三豊市粟島&須田港  
3年ごとのトリエンナーレ

海と島のみとよ情報発信の起爆剤として位置付ける。

タラ財団の展示



船上プロジェクト



粟島（あわしま）は、香川県三豊市、詫間港の北西4.5kmの海上に浮かぶ島。面積3.68平方km、周囲16km。塩飽水軍で有名な塩飽諸島に属し、かつては北前船の寄港地として栄えた。1897年（明治30年）設立の国立粟島海員学校は、日本で最初に村立(当初)で開設、1987年（昭和62年）に廃校。その跡地は、粟島海洋記念公園に新しく生まれかわり島のシンボルとなっている。

荘内半島（しょうないはんとう）は三豊市北西部にある。半島の北側は備讃瀬戸（びさんせと）、西側は燧灘（ひうちなだ）が広がっている。荘内半島には、浦島太郎に関する地名が数多く残されてる

アートインスタレーションやマルシェの開催



ベトナム人アーティストとの交流や瀬戸内少女歌劇団



父母ヶ浜の長年の住民の環境保全活動が実を結んだ



いまやインスタ映えで46万人もの観光客を集める父母ヶ浜



ニューヨークタイムズでも掲載された瀬戸内の美：紫雲出山から見る眺望

# ■ 観光・経済面の取り組み

## ● 観光基本計画の骨子

(1) 魅力的な観光地域づくり

(2) 効果的なデジタルマーケティングと情報発信の強化

(3) 観光客受け入れ環境の整備



- 瀬戸内の美～世界に誇る**内海** (うちうみ※) の**絶景**を誇る
- 粟島 = 環境保全を目指す**タラ財団**の日本の本拠地として
- 南米ウユニ塩湖に比する**父母ヶ浜**の集客力
- **荘内半島のゲストハウス**の充実・民間事業活力
- **紫雲出山** (しうでやま) の**絶景**

ゲートウェイとしての讃岐造船所跡地・産業エリア開発

- 起点となる**詫間港エリア**開発



※内海 (うちうみ)

=世界的にも地中海と並ぶinland seaの代表が瀬戸内海。シルクロード (絹の道) を命名したりヒトフォーヘンが「海の道」として絶賛した。

活動展開イメージ (ワークショップ等成果から)

## 瀬戸内と三豊全体を 新しい物語と体験でつなぐ



# 瀬戸内ワークス & 地元民間団体の活躍

民間組織「瀬戸内海ワークス」と三豊市の連携により、様々なプロジェクトが次々と誕生。海と島の三豊エリアとして魅力化を図りながら、地域内外の意欲的なプレーヤーがつながり、人材の活性化・交流人口の拡大に寄与している。瀬戸内ワークスは、三豊市からの委託で、令和元年度に「三豊市観光戦略（関係人口創出・検証）策定業務」を受託。



三豊リーダーズカンファレンス

## 地域に“関わりたい人”をいかに受け入れるのか？

2019 6/9 SUN  
16:00～18:00 出席17:30  
三豊市文化会館マリンウェーブ

東シナ海の小さな小さな島に日本中から若い人が集まる秘密を解明する!!  
旅の醍醐味が注目され経営雑誌にも呼ばれる男マツタケが三豊にやってくる! 地域だけでいかに“役割”を作るのか? 何度も何度も島に関わる人々をどのように受け入れていったのか? そんな彼の挑戦を余すところなく語ってもらいます。

■ 講師  
マツタケ 大輔  
三豊市観光戦略策定業務 三豊市観光戦略策定業務 三豊市観光戦略策定業務 三豊市観光戦略策定業務

■ 応募フォーム  
オンライン登録  
お問い合わせ  
瀬戸内ワークス株式会社 info@stouchworks.jp

三豊リーダーズカンファレンス第3弾

## 域外の人材を地域の経営に取り込め!

人員募集から人材募集へ  
2019 6/21 FRI  
17:30～19:30 出席17:00  
三豊市文化会館マリンウェーブ

### 副業・兼業での地域募集実績No.1.

今、最もリクルーティングで注目を浴びるビズリーチ 地域ビジネスのスペシャリストが来る。

地域の中小企業にとって要となる専門人材や、プロデュース人材、現場を客観的に見る人材など、企業の中核を担う人材の集め方、育て方のセミナーを開催します。

- 経営の右腕になる客観的な人材が足りない
- 事業承継をする上でしっかりした人事制度を考えた
- 毎回リクルーティングで苦勞をえている
- PR、マーケティングの人材がいない
- ITに強い人材が欲しい

多くの地域の中小企業が抱える悩みの部分。どのようにならぬ人材を確保する? 効果的なリクルーティングとは? また応募者に選ばれる自社の伝え方とは?

■ 講師  
片山 加菜  
株式会社ビズリーチ 地域ビジネス事業部 企画課 企画グループ プロマネージャー

■ 応募フォーム  
オンライン登録  
お問い合わせ  
瀬戸内ワークス株式会社 info@stouchworks.jp

三豊リーダーズカンファレンス第4弾

## 関係人口が地域を面白くする!?

2019 7/19 FRI  
13:30～15:30 出席13:00  
三豊市文化会館マリンウェーブ

ソーシャルな雑誌の先駆的雑誌「ソトコト」の編集長が三豊にやってくる!

今日の国内旅行の北方旅行のプログラムの中核にも出てくる「関係人口」その言葉をメディアで発信して観光への投資をした中心人物こそ、雑誌「ソトコト」の編集長の田中一正さん。

そんな関係人口の創出をお話して、今なぜ関係人口なのか? 日本各地で起きている面白い地域のプロジェクト、うまく行かなかったプロジェクトもそこにはどんなヒントがあるのか? 雑誌、ソーシャル、地域活性というキーワードで日本中を回遊してきた「ソトコト」の編集長だからこぼれるこれからの日本の観光の未来とは? を聞き出します。

■ 講師  
田中 一正  
雑誌「ソトコト」編集長

■ 応募フォーム  
オンライン登録  
お問い合わせ  
瀬戸内ワークス株式会社 info@stouchworks.jp



水 2019/12/18  
有楽町microローカルライフナイト Vol.1 〜都市で働き、地域に関わる〜

原田 佳南子さん、他友達2人が参加しま...

原田 佳南子さん、他61人

いいね! コメントする シェア

2019 9/25 wed  
観光客から関係客へ。

奇跡のV字回復を遂げた温泉街・熱海 復活の仕掛け人が三豊に来る!

水 2019/09/25  
三豊リーダーズカンファレンス第5弾  
「観光客から関係客へ。」

原田 佳南子さん、他友達2人

関係人口の創出を通じて

- ①地域の人材不足問題の解決
- ②オーバーツーリズムの解消
- ③コアリピーターの創出

デジタルマーケティングと、東京・高松・三豊でのイベントや、東京を含む県外者が参加するツアーを実施。

はたらく・あそぶ・住む・・・魅力的で持続可能な地域づくり



▲父母ヶ浜PORT・・・

公設で指定管理者が管理し、設備投資も行っている。事業者とともに、観光客の利便性向上、住民の満足度向上のため交通・受入環境整備を行っていく。



海と島のみとよが  
瀬戸内を魅力的な地域にする



7月17日(水)開催！旅して働く瀬戸内ナイト【しごとバー】@東京

イベント  
2019.06.21



父母ヶ浜の長年の住民の環境保全活動と、観光集客活動と交流人口の増加が活性化の起爆剤となっている



kotobus.com  
瀬戸内ワークスローカルライ  
アル11月9日・10日 [詳しくはこちら](#)

コメントする シェア

瀬戸内Life Experienceさんがイベ...  
ントをシェアしました。

ソーシャルな雑誌の先駆的雑誌・「ソトコト」の編集長が三豊にやってくる！  
今回の内閣府の地方創生のプログラムの中核にも出てくる「関係人口」。  
その言葉をメディアで提唱して政府への提言をした中心人物こそ、雑誌ソトコトの編集長の指出一正さん。

そんな関係人口の提唱者をお招きして、今なぜ関係人口なのか？  
日本各地で起きている面白い地域のプロジェクト、うまく行っていることも、うまく行かなかったプロジェクトもそこにはどんなヒントがあるのか？

環境、ソーシャル、地域活性というキーワードで日本中を特集してきているソトコトの編集長だからこそ感じるこれからの日本の地域の向かう道とは？を聞き出します。

三豊リーダースカンファレンス 第4弾

関係人口が  
地域を  
面白くする！？

2019 7/19 Fri  
13:30-15:30 無料  
三豊町文化センターリゾムエフ  
三豊町文化センターリゾムエフ  
〒768-0001 香川県三豊町三豊1-1-1

金7月19日  
三豊リーダースカンファレンス  
第4弾 関係人口が地域を面... [興味あり▼](#)

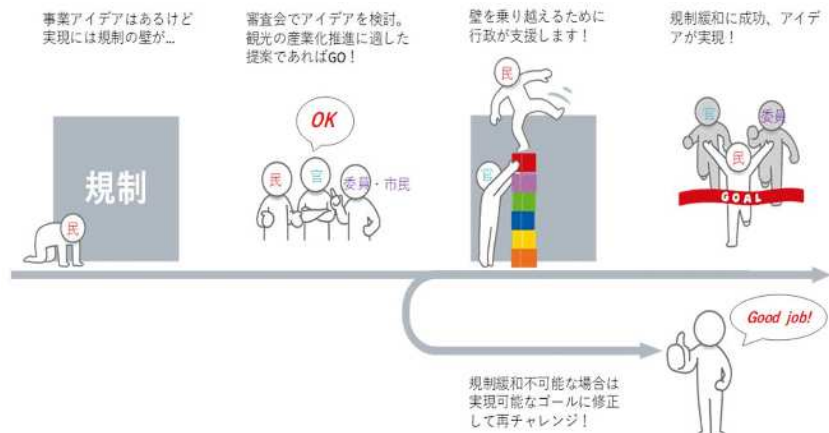
▲ 興味あり206人・参加予定28人

👍👎👏 146人

地域貢献＝やりがいのある仕事を求める都会の若者たちとの接点を創造する事業を実施。

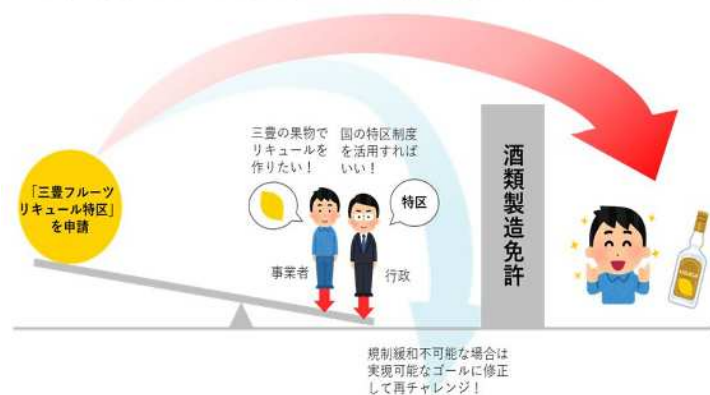
# 商品開発・流通販売活動

## ◆三豊を魅力的な観光地域にするための課題解決型提案支援制度の仕組み図



### ◆官民いっしょに知恵を絞って、規制の壁を乗り越える!

三豊の果物でリキュールを作りたいが、酒類製造免許を取得するには製造数量が最低6㎏必要。小規模な事業者にとっては大きな壁だった。そこで国の特区制度に申請。少量でも製造可能に!



## 例①「酒蔵は、地域の価値を醸造する。」 Sakagura brews the value of the region.

香川、三豊。瀬戸内に向かって伸びる荘内半島の根元。瀬戸内国際芸術祭の舞台となる栗島漂流郵便局に向かう須田港から徒歩1分の場所で、観光客、地元民のハブとなる施設「三豊鶴」をオープン。141年前に産声を上げ「日本酒」を醸造していた地域最後の酒蔵「三豊鶴」は、“地域の価値”を醸造する場所へと変貌。瀬戸内の穏やかな空気と多島美を楽しむことができるリゾート型ゲストハウスが多いこの地域で、さらに地域全体を楽しんでもらうための補完的機能（飲食、娯楽、土産、体験など）を持った複合施設で、コワーキングスペースのような交流とイノベーションを生み出す場所を目指す。この拠点に多様な人々が集い、様々なプロジェクトが生まれ、時代に合わせ地域の価値を醸造する「三豊鶴」というバトンを次世代へと受け継いで行けるように。三豊市観光交流局のHPや、瀬戸内国際芸術祭用に制作した栗島のパンフレットでの情報発信も行き、こうした民間事業者の取り組みを後押しした。



## 例②荘内半島でのオリーブ農園・レモン農家と商品づくり+ゲストハウス

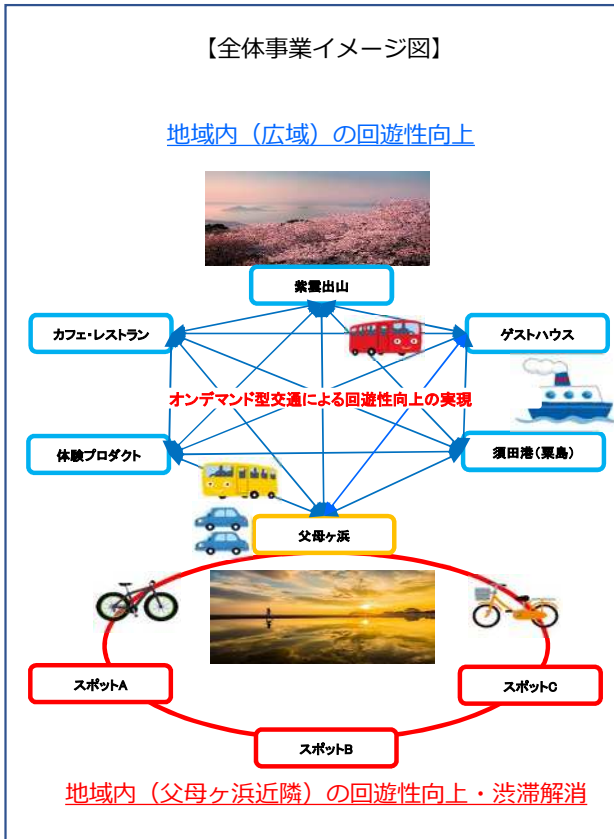




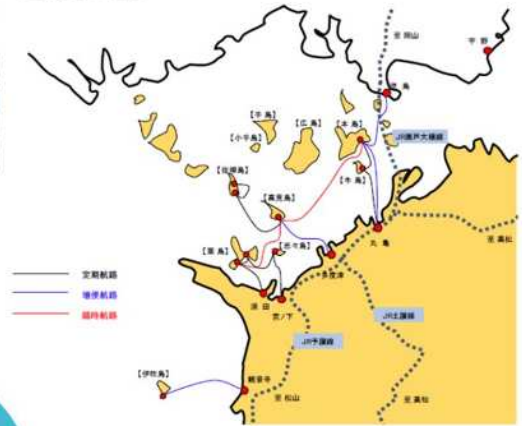
# 社会面の取り組み

## モビリティ計画

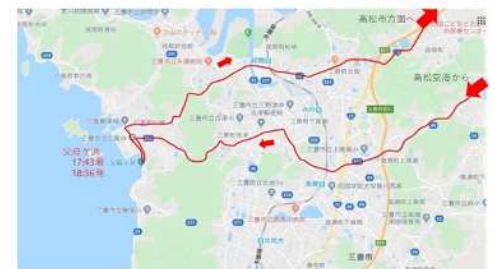
域外からの流入と域内の移動活性化の両方を鑑み、様々なモビリティの有機的な配備計画を推進する。観光交通・生活交通の両立と、地元住民にとっての快適なデマンド交通がつながり、地域の活性化、持続可能な生活圏の維持に貢献。



■航路図(中西津)



海上交通と陸路の融合、駅と港、低速近距離・長距離高速  
 ……モビリティ計画の策定の重要性



デジタルマーケティング・情報発信etc.  
 受入基盤整備・道路標識・オンデマンド型交通etc.



魅力的な観光地域づくり



グリーンズローモビリティ  
 時速 20 km未満で公道を走行する 4 人乗りの電動モビリティ。  
 観光客向けの利便性の高い交通手段や高齢者の移動のための交通手段の確保対策と、環境にやさしい低炭素型モビリティ導入を同時に進められる移動手段として有効性が期待されている。



鉄道とバス、オンデマンドタクシーなど適切なモビリティの組み合わせが実利便性を生む。

# ■ 環境面の取り組み

## タラ財団の海洋環境調査への支援

日本事務所を粟島に。

アニエスベーがサポートするフランスの科学探査スクナー船。

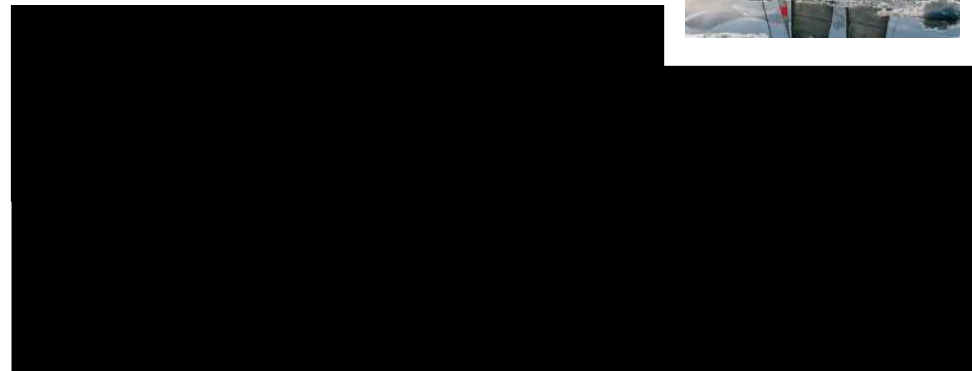
以下の2大ミッションを果たすために、2003年にプロジェクトを始動しました。

1. 気候の変動と海洋における環境問題の研究プロジェクトを企画・遂行する
2. 科学的調査を実施、発表し、環境変化に対する人々の関心を向上させる

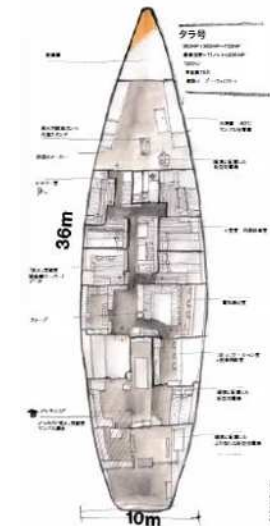
プロジェクト最高責任者のエティエンヌ・ブルゴワは、「環境の脆さについて人々に関心を持って欲しい。タラ号の科学ミッションは、海洋と気候、海洋と海洋生物多様性、海洋と人間、の3つを中心に組み立てられている。」

タラ号に乗った科学者と乗組員たちは、極地から極地へと航海に繰り出し、船に搭載されたテクノロジーと最新鋭の実験室を駆使して、海洋に関する知識を深めてきた。

タラ号の母港は、ブルターニュ地方のロリアン港。40ヶ国から350名が1800日に及ぶ航海の間タラ号に乗船し、70の研究所や科学機関が関与。タラ号は約50ヶ国の国を訪れ、80回近く寄港した。プロジェクト毎に、10名余りの科学者たちが乗船し、約20の科学分野で研究を行い、それらは、海洋生物学、分子生物学、海洋学、生物情報学、生物地球化学、ゲノム科学、画像診断、生態学、モデリング、微生物学（細菌学・ウイルス学）、気象学、エネルギー収支法、降雪学、氷河学、動物学、鳥類学、考古学、地質学、化学といった分野に及ぶ。



- ①最先端のプロフェッショナルな取組を学ぶことによる子どものグローバルな人材育成
- ②環境啓発による豊かな環境を後世まで残すこと
- ③粟島を拠点とした交流人口の拡大及び地域コミュニティ維持による離島の振興、住み続けられるまちづくり



## タラ財団

### タラ号ジュニアプロジェクト

タラ号ジュニアプロジェクトでは、タラ号の研究を通して、環境問題を子どもたちに分かりやすく説明し、考えさせ、関心を向上させる取り組みを行っている。これまでに、フランスで35,000人以上の子供、世界中で16,000人の子供たちが、実際にタラ号を訪問。



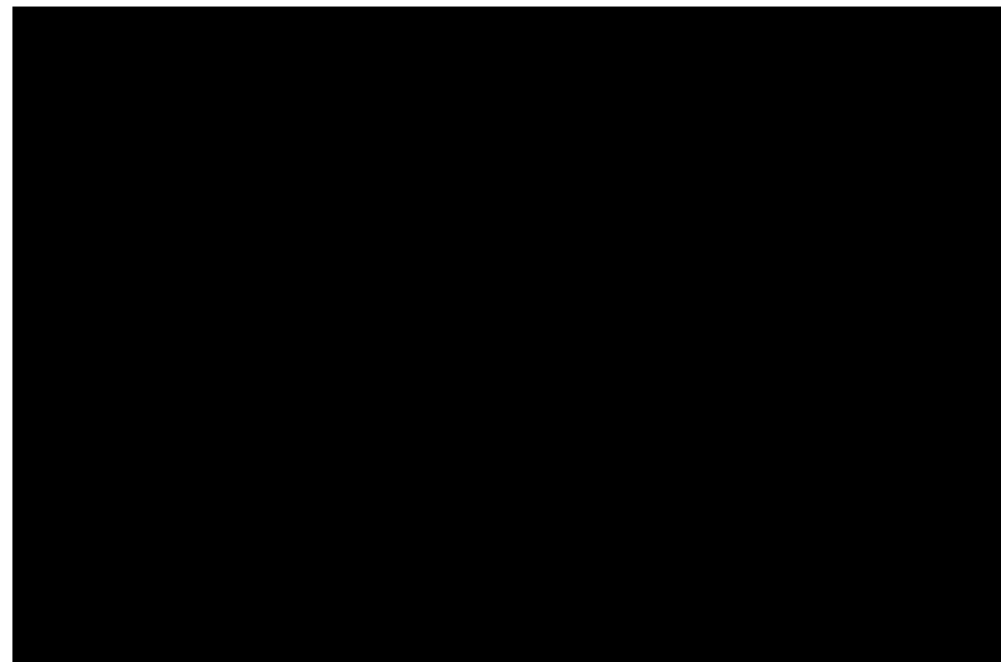
タラ号プロジェクト事務局長  
ロマン・トウルブレ



### 一般社団法人 タラジャパン

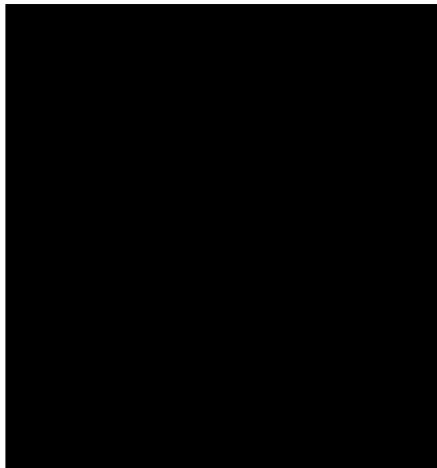
日本人に海の生命に対する意識をタラ号という科学探査船の活動を通じてあげていく組織

2017年設立 フランスのタラ財団の支社

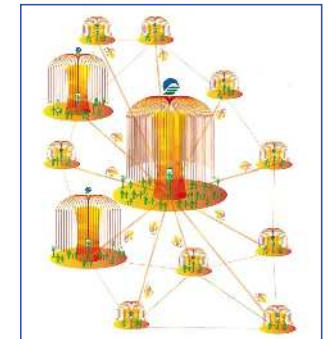
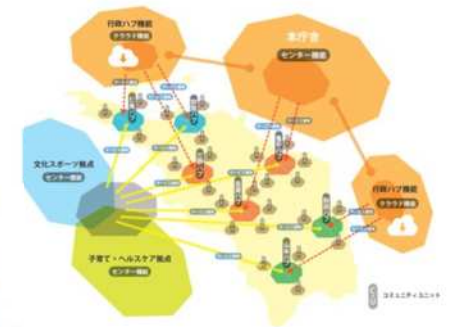
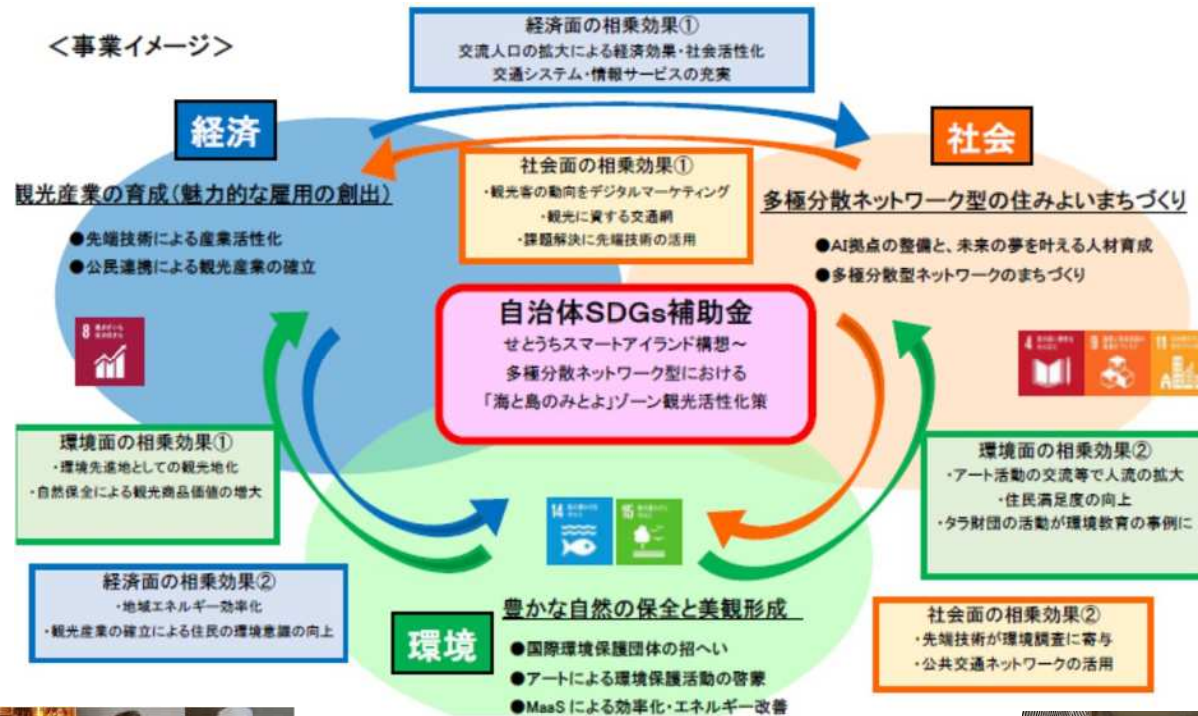


# ■ 統合的取り組み 当該エリア & 市全域での有機的バランス

多極分散ネットワーク型まちづくり  
2km圏コミュニティゾーン=「小さな拠点」配置構造



MAiZM [マイズム]  
MaaS AI 社会連携推進



★2km圏コミュニティゾーンとは  
=行政ハブ+コミュニティユニット  
(人々の集う場)



★AIプログラミング講座による人材育成

★環境活動とアートによる情報発信

# ■ 多様なステークホルダーとの取り組み

⇒ 自律的好循環を生む工夫



## ミトヨで、 やってミヨ。

ミトヨで、やってミヨ。  
ミトヨに、住んでミヨ。  
ミトヨで、走ってミヨ。  
ミトヨで、跳んでミヨ。  
といった形で、三豊市の次世代事業者・  
チャレンジャーから  
全国の人々へ向けたメッセージを展開。